

一歩前に入る人になる

入社3年目の浩紀さんは、仕事では常に「自分から動く人」であらうと心がけています。

朝は少し早めに出社し、誰にも言われずに床を掃きます。

挨拶は待たずに自分から。

廊下ですれ違えば、相手の目を見て声をかけます。

エレベーターでは「何階までですか」と先に尋ね、操作盤に手を伸ばします。

電話の呼び出し音が鳴れば、迷わず受話器を取ります。

会議では、考えがまとまらなくてもまず手を挙げます。

通路に紙くずを見つければ、自らゴミ拾いをします。

浩紀さんは就職の際、父から「率先するには勇気がいる。だからこそ、その役目を引き受けなさい」と教えられました。

一方で、順番を待つ場面では人に譲ることも忘れません。迷ったときこそ、自分の「一歩」を踏み出す好機です。小さな行動の積み重ねが、信頼を育てていくのです。

今日の言霊 勇気ある一歩先に

職場で信頼される人は、特別な能力よりも「先に動く姿勢」を大切にしています。

例えば、朝の準備を誰よりも早く整える、声かけを待たずに挨拶する、共有スペースを見て気づいたことを整える。来客時に自分から案内する、電話や問い合わせにすぐ対応する、話し合いの場で沈黙を破る。

こうした行動は、どれも難しいことはありませんが、最初に動くには少しの覚悟が要ります。

周囲の反応を気にして立ち止まるより、「今、自分ができること」を選ぶ。その積み重ねが、職場の空気を前向きに変えていきます。誰かがやるのを待つのではなく、自分がきっかけになる。その姿勢こそが、周囲を動かし、信頼を広げていく力になるのです。まずは今日、自分から一歩踏み出してみましよう。

【今回の学び】⇒迷った瞬間こそ、自分が動く合図になる！



一歩前に入る人になる

入社3年目の浩紀さんは、仕事では常に「自分から動く人」であろうと心がけています。

朝は少し早めに出社し、誰にも言われずに床を掃きます。

挨拶は待たずに自分から。

廊下ですれ違えば、相手の目を見て声をかけます。

エレベーターでは「何階までですか」と先に尋ね、操作

盤に手を伸ばします。

電話の呼び出し音が鳴れば、迷わず受話器を取ります。

会議では、考えがまとまらなくてもまず手を挙げます。

通路に紙くずを見つければ、自らゴミ拾いをします。

浩紀さんは就職の際、父から「率先するには勇気がいる。だからこそ、その役目を引き受けなさい」と教えられました。

一方で、順番を待つ場面では人に譲ることも忘れません。迷ったときこそ、自分の「一歩」を踏み出す好機です。小さな行動の積み重ねが、信頼を育てていくのです。

今日の言霊 勇気ある一歩先に

★問一（漢字・語句） 文中の「率先する」の意味として、最も適切なものを選びなさい。

ア 周囲の様子を見て行動すること

イ 人に任せて後から動くこと

ウ 自分から進んで行動すること エ 命令されて動くこと

★問二（選択） 浩紀さんが日常で大切にしている姿勢として、最も適切なものはどれか。

ア 失敗しないよう慎重に行動すること

イ 人より目立たないようにすること

ウ 自分から進んで行動すること

エ 決められたことだけを行うこと

★問三（選択） 本文で述べられている、父の教えとして正しいものはどれか。

ア 無理をせず周囲に合わせなさい

イ 率先する役目は避けなさい

ウ 率先するには勇気が必要だからこそ引き受けなさい

エ 仕事は結果だけが大切だ

★問四（選択） 本文の内容に合っているものはどれか。

ア 浩紀さんは常に自分を優先している

イ 順番を待つ場面では譲ることも大切に行っている

ウ 行動する前に必ず考えをまとめている

エ 他人の行動には関心がない

★問五（記述） 本文を踏まえて、「小さな行動の積み重ね」が信頼を育てる理由を書きなさい。（四十字程度）

模範解答・解説

★問一 模範解答 ウ

○解説④「率先する」は、他人に言われる前に、自分から進んで行動することを意味する。父の言葉や浩紀さんの行動例からも、自ら先に動く姿勢を表していると分かる。

★問二 模範解答 ウ

○解説④掃除や挨拶、電話対応など、浩紀さんは誰かに指示される前に自分から動いている。本文全体を通して、「自分から進んで行動する姿勢」が一貫して描かれている。

★問三 模範解答 ウ

○解説④父は「率先するには勇気がいる」としたうえで、「だからこそ引き受けなさい」と教えている。率先する行動の大切さと、その行動を選ぶ覚悟を伝えている言葉である。

★問四 模範解答 イ

○解説④浩紀さんは率先して行動する一方で、「順番を待つ場面では人に譲ることも忘れない」とある。他人を思いやる姿勢も大切にしていく点が本文に合っている。

★問五(記述) 模範解答(例)

自分から行動する姿勢が周囲に伝わり、安心して任せられる人だと思われるから。

○解説④行動を積み重ねることで、言葉よりも態度で信頼を示せる。小さな行動でも続けることで、周囲から「この人なら大丈夫だ」と思われるようになる点を押さえる。

職場で信頼される人は、特別な能力よりも「先に動く姿勢」を大切にしています。

例えば、朝の準備を誰よりも早く整える、声かけを待たずに挨拶する、共有スペースを見て気づいたことを整える。来客時に自分から案内する、電話や問い合わせにすぐ対応する、話し合いの場で沈黙を破る。

こうした行動は、どれも難しいことではありませんが、最初に動くには少しの覚悟が要ります。

周囲の反応を気にして立ち止まるより、「今、自分ができること」を選ぶ。その積み重ねが、職場の空気を前向きに変えていきます。誰かがやるのを待つのではなく、自分がきっかけになる。その姿勢こそが、周囲を動かし、信頼を広げていく力になるのです。まずは今日、自分から一歩踏み出してみましょ。

【今回の学び】⇒迷った瞬間こそ、自分が動く合図になる！

